



第29回 精神病態セミナー

妄想の3要因モデルと その発展

演者：宮田 淳 先生

愛知医科大学

精神科学講座 教授

精神神経科 部長

こころのケアセンター 部長

日 時 2024年 3月 29日（金） 18:00～19:00（質疑応答含む）

開催方法 Zoomを用いたLIVE型のweb形式

参加費 無料

参加方法 3月28日（木）までに下記URLよりお申し込みください。
精神疾患病態研究部のHPからもお申し込みいただけます。

<https://forms.gle/HC3aV5shpnFVg7Um6>

※事前申込が必要です。

妄想は統合失調症の主要症状の一つで、患者さんに多大な苦痛を与える。カール・ヤスパース（1913）は妄想の定義として1）誤った信念であること、2）強く確信されていること、3）訂正困難であることの3つを挙げ、これは現在のDSMでも踏襲されている。一方、近年の神経科学的研究ではこれら3つに対応すると考えられる概念・メカニズムがある。申請者はこれに着目した「妄想の3要因モデル」に基づいた研究を進めてきた。妄想の定義に基づいたこのようなモデルは、十分にシンプルでありながら、臨床で経験される患者さんの妄想の多様性も説明できる。またこのモデルは幻覚や自我障害のメカニズムにも発展出来るかもしれない。本研究により、既存の治療法に不応性の症状に対する新規治療ターゲットの開発へとつなげていきたい。

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部

橋本亮太 Tel: 042-346-2046（内線6255）